

アグリバイオ実用化・産業化研究

【 6 1 8 (9 6 2) 百万円】

事業のポイント

食料・環境分野の研究開発の発展や新産業の創出を目指して、独立行政法人の有する技術シーズを基に産学官連携による実用化・産業化研究を実施します。

(研究課題例)

- ・ 遺伝子組換えカイコを利用した機能性繊維の創出。

政策目標

バイオテクノロジーを活用した「食べる」、「暮らす」、「生きる」の向上

(「B T 戦略大綱」)

< 内容 >

1. 食料機能性、安全性向上のための研究開発
消費者ニーズに対応した機能性、安全性の高い食品、農作物の作出等の研究開発を行います。
2. 持続可能な社会の実現のための研究開発
産業利用が可能なレベルで有用物質を生産する植物等の作出や利用技術の研究開発を行います。

< 実施主体 > 民間企業、独立行政法人、大学等

< 実施期間 > 平成 1 6 年度 ~ 平成 2 0 年度

[担当課 : 農林水産技術会議事務局先端産業技術研究課 (0 3 - 3 5 0 2 - 3 9 1 9 (直))]